

授業の玉手箱

よく使われる英語表現を

東條 加寿子

今回は、「英語の授業は英語で」の流れの中で、私たち教員はどのように授業英語を向上させていけばいいのか、ワンポイントで考えてみたいと思います。

コーパス言語学という分野が盛んになるに伴って、言語が場面によって実際どのように使われているのかについての知見が次々に得られるようになりました。単語の辞書的な意味や用法に依存するのではなく、コーパスと呼ばれる膨大な言語データから実際の言語使用例を取り出して、役立てていこうという観点です。私たち教員の目的に照らし合わせて言えば、「授業」という場面で「どのような英語表現」が頻繁に使用されているかを調べて、それらの表現を意識的に用いることによって、授業で用いる英語を向上させていこう、という観点です。

英語の授業で用いられる言語表現を見てみると、私たちが無意識のうちに使っている表現が頻繁に用いられていることが確認でき、「やはりそうなのか」と自信がついたり、私たちがあまり使ってこなかったもので明日からすぐに使えそうな表現を「採集」できたり、となかなか有益です。こういった言語データから得られる授業英語の特徴を理解して、意識的に授業で用いることは、英語の授業を改善していく具体的な第一歩ではないでしょうか。

授業英語のいくつかの表現を紹介する前に、“lexical bundle”という概念をおさえておきたいと思います。Lexical bundle は1999年ごろからBiberという研究者らによって盛んに用いられるようになった用語で、「単語の束」(筆者訳)といったところでしょうか。これが「頻繁に用いられる単語群」ということであれば、慣用句、すなわちイデオムを連想する読者も多いことと思います。しかし残念ながらlexical bundleはイデオムとは異なります。例えば、bear in mindというイデオムは意味的にも文法的にも(動詞句として)完結していてrememberという別の単語で置き換えることができますが、lexical bundleは通常、意味的・文法的には不完全な単語の塊であるといわれています。一方、使用頻度の観点からいえば、イデオムが必ずしも高頻度で用いられるわけではないのに対して、lexical bundleは統計的に高頻度で隣り合わせになる組み合わせを示します。使用頻度が高い表現ですから、活用度の度合いが高いこと間違いなし、という強みがあります。

それでは、授業英語にみられるlexical bundleには一体どのようなものがあるのか、終わりにいくつか例文^{注)}を示したいと思います。

[(教師の) 意図やスタンスを示す]

What I want to do is to show you some of the examples.

Before I do that, I want to talk about

[(生徒への) 指示や期待を示す]

I want you to take a look at

If you look at the picture, you can find

So you need to go to the library.

You should be able to find the subject of the sentence.

For those of you who came late. . . .

[その他]

We have six more days before the exam or something like that.

As shown in this picture, . . .

That's one of the reasons why. . . .

^{注)} 下線部が lexical bundle。例文は、研究成果として報告されている lexical bundle を用いて筆者が作成した。

書籍紹介

『道を歩けば前置詞がわかる』

宗宮喜代子・石井康毅・鈴木梓・大谷直輝著
(2007) くろしお出版 1,470円

タイトルから分かるように、空間のイメージを利用して「五感を駆使して」英語の前置詞の使用法を身につけようとする一冊です。

たとえば、運転中の車がガス欠になったときに、

The gas tank is empty. There is no gas left.

というように「いかにも英作文」的な表現も成立しますが、頻出前置詞を含む表現 I am out of gas. とすると、こなれた表現になります。

また、自分が洋服店の店員さん、または友人・恋人などと一緒に買い物に言ったシチュエーションを想定して、I would like to recommend this pink dress.

とやや堅苦しい表現も十分に成立しますが、ここでも前置詞を味方につけて

Pink looks good on you. You look good in pink.

と表現すると、主語が「ピンク(のドレス)」「あなた」という要素も加わって、「似合っている」と勧められた方の気持ちがグッと動くかもしれません。

章が進むにつれて、発展的な要素や、映画やアニメなどの言語文化的な側面も取り込んで「決めの一語」(原文ママ)も紹介されていますので、楽しみながら読み進めていけるとと思います。

(夫 明美)



編集後記・第11・12回勉強会(案内)

東日本大震災から半年以上経ちました。9月21日は、未だ日々の生活に苦勞されているところへ台風15号が追い打ちをかけました。被災者の皆様のresilienceを祈るばかりです。私たちは私たちに前進して行きたいと思います。第7号をお届けします。(ひ)

第11回勉強会予定

平成23年10月15日(土)

最近「ネイティブ感覚のー」というタイトルの英語の参考書などがたくさん出版されているが、日本語感覚で英文を考える生徒や学生は絶えず、たとえば、「その本を買うのを忘れた」を“I forgot buying the book.”とする。そうした日英の言葉の違いの例を示しながら、英語のおもしろさを再認識する勉強会としたい。



第12回勉強会予定

平成23年11月26日(土)

「PISA型学力の育成」を学校教育目標としている大阪府教育センター附属高等学校の森下先生に、PISAの考えを基に、5技能(4技能+考えること)を統合したコミュニケーション能力の育成し、3年後の目標として英語で自分の思いを伝える力を育てる英語授業づくりやその取り組みについて、授業ビデオ等を通してご紹介していただきます。



大阪女学院大学・大阪女学院短期大学
教員養成センター Teacher-training Center

540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26番54号

Tel: 06-6761-9371 Fax: 06-6761-9373

Homepage: <http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc>

e-mail: ttc@wilmina.ac.jp